

一関工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	デジタル回路 I	
科目基礎情報							
科目番号	0002			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	未来創造工学科（電気・電子系）			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	絵ときデジタル回路の教室 堀佳太郎オーム社						
担当教員	小野 孝文						
到達目標							
教育目標D							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		デジタル情報系と回路が理解活用出来る。		デジタル情報系と回路が理解出来る		デジタル情報系と回路が理解出来ない	
評価項目2		ブール代数MILを理解活用できる。		ブール代数MILを理解できる。		ブール代数MILを理解出来ない。	
評価項目3		論理の一致カルノー図を理解活用できる。		論理の一致カルノー図を理解できる。		論理の一致カルノー図を理解出来ない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 D							
教育方法等							
概要	デジタル回路を理解し、それらの基礎となる論理代数、論理素子について学習する。						
授業の進め方・方法	授業は教科書を中心に講義をすすめる。十分に予習復習を行うこと。						
注意点	試験結果(100 %)、詳細は第 1 回目の授業で告知する。コンピュータの基礎をなす 2 進数や論理代数、論理素子についての理解の程度を評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	デジタル情報系と回路		デジタル情報系と回路が理解できる		
		2週	"		"		
		3週	"		"		
		4週	ブール代数		ブール代数を理解出来る		
		5週	"		"		
		6週	デジタル回路		デジタル回路を理解出来る		
		7週	"		"		
		8週	中間試験		"		
	4thQ	9週	MIL記法		MIL記法を理解できる。		
		10週	"		"		
		11週	"		"		
		12週	論理の一致		論理の一致を理解できる。		
		13週	"		"		
		14週	カルノー図		カルノー図を理解できる。		
		15週	期末試験				
		16週	試験の解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0